

吾妻山森林生態系保護地域内植生回復活動を支援

吾妻山森林生態系保護地域内には、多数の湿原があり、木道整備前に発生した踏み荒らしによる荒廃地が存在しています。

この荒廃地における植生回復活動を、市民団体「ネイチャーフロント米沢」が平成16年度から行っています。

この活動に置賜森林管理署職員も毎年参加しています。

8月22日(土)に植生回復に必要な湿原に自生している種子を採取しました。

その種子を9月12日(土)に湿原内において植生が乏しい箇所へ播種しました。

播種した種子の量は、主にヌマガヤ・ミカヅキグサの種子で約96,000粒でした。

今回の参加者は、環境省、報道機関、登山途中の一般の方を含め計11名でした。

今回播いた種子が湿原の植生回復に繋がることを願い、現場をあとにしました。

今後も貴重な環境である森林生態系保護地域の保全のため、この活動を支援していきます。



植生マット運搬準備



採集した種子を播きました



植生回復活動地(小凹湿原)



種子活着のためのマットを敷きました